d_0は、対象使用済燃料であって、当該実用発電用使用済燃料貯蔵設備のうち乾式貯蔵設備（貯蔵設備であって、使用済燃料を気体中で貯蔵する方法を用いるものをいう。以下この条において同じ。）に貯蔵されているもののうち当該実用発電用使用済燃料貯蔵設備が設置されている実用発電用原子炉として別表第十一の下欄に掲げるものから生じたものの重量をトンを単位として表した値とする（以下この号において同じ。）。

w_0は、対象使用済燃料であって、当該実用発電用原子炉から生じたものの重量をトンを単位として表した値からW_0及びd_0を除いた値とする（以下この号において同じ。）。

c_0は、当該実用発電用原子炉に初めて装荷された燃料の一炉心分の重量をトンを単位として表した値とする（以下この号において同じ。）。

γは、$W_0-1.48\times c_0$が0以下の場合には0とし、それ以外の場合には次の算式により算定して得た値とする。

$$\frac{W_0-1.48\times c_0}{(W_0+d_0+w_0)-1.48\times c_0}\times 130{,}000$$

δは、$W_0-1.48\times c_0$が0以下の場合にはイの算式により算定して得た値とし、それ以外の場合にはロの算式により算定して得た値とする。

イ　$\dfrac{d_0}{d_0+w_0}\times 200{,}000$

ロ　$\dfrac{d_0}{(W_0+d_0+w_0)-1.48\times c_0}\times 200{,}000$

E'は、$(W_0-1.48\times c_0)-W_0'$が0以下の場合にはイの算式により算定して得た値とし、それ以外の場合にはロの算式により算定して得た値とする。

イ　$(W_0-1.48\times c_0)\times 130{,}000$

ロ　$W_0'\times 130{,}000$

W_0'は、対象使用済燃料であって、当該実用発電用使用済燃料貯蔵設備のうち湿式貯蔵設備に貯蔵されているもの（実用発電用原子炉において混合酸化物燃料として使用されたものに限る。）のうち、当該実用発電用使用済燃料貯蔵設備が設置されている実用発電用原子炉として別表第十一の下欄に掲げるものから生じたものの重量をトンを単位として表した値とする（以下この号において同じ。）。

γ'は、$W_0-1.48\times c_0$が0以下の場合には0とし、それ以外の場合には1とする。

D'は、$W_0-1.48\times c_0$が0以下の場合にはイの算式により算定して得た値とし、それ以外の場合にはロの算式により算定して得た値とする。

イ　$\{(W_0+d_0+w_0)-1.48\times c_0\}\times\delta'$

ロ　$d_0'\times 200{,}000$

d_0'は、対象使用済燃料であって、当該実用発電用使用済燃料貯蔵設備のうち乾式貯蔵設備に貯蔵されているもの（実用発電用原子炉において混合酸化物燃料として使用されたものに限る。）のうち、当該実用発電用使用済燃料貯蔵設備が設置されている実用発電用原子炉として別表第十一の下欄に掲げるものから生じたものの重量をトンを単位として表した値とする（以下この号において同じ。）。

δ'は、$\{(W_0+d_0+w_0)-1.48\times c_0\}\times d_0\div(d_0+w_0)-d_0'$が0以下の場合にはiの算式により算定して得た値とし、それ以外の場合にはiiの算式により算定して得た値とする。

i　$\dfrac{d_0}{d_0+w_0}\times 200{,}000$

ii　$\dfrac{d_0'}{(W_0+d_0+w_0)-1.48\times c_0}\times 200{,}000$

E_0は、当該実用発電用使用済燃料貯蔵設備に特定実用発電用貯蔵使用済燃料（対象使用済燃料であって、当該実用発電用使用済燃料貯蔵設備に貯蔵されているもののうち当該実用発電用使用済燃料貯蔵設備が設置されている実用発電用原子炉として別表第十一の下欄に掲げるものから生じたものをいう。以下この号において同じ。）のみが貯蔵されている場合には0とし、当該実用発電用使用済燃料貯蔵設備にその他実用発電用貯蔵使用済燃料（対象使用済燃料であって、当該実用発電用使用済燃料貯蔵設備に貯蔵されているもののうち特定実用発電用貯蔵使用済燃料以外のものをいう。以下この号において同じ。）が貯蔵されている場合には、当該その他実用発電用貯蔵使用済燃料をその燃料として使用した実用発電用原子炉ごとに、次の算式により算定して得た値の合計値とする。

$$\{(W_i+W_{0i}+d_{0i}+w_i)-1.48\times c_i\}\times(\varepsilon+\theta)+E_0'+D_0'$$

W_iは、当該特定実用発電用貯蔵使用済燃料であって、当該実用発電用使用済燃料貯蔵設備のうち湿式貯蔵設備に貯蔵されているものの重量をトンを単位として表した値とする（以下この号において同じ。）。

w_{0i}は、その他実用発電用貯蔵使用済燃料であって、当該実用発電用使用済燃料貯蔵設備のうち湿式貯蔵設備に貯蔵されているもののうち、当該実用発電用原子炉以外の実用発電用原子炉から生じたものの重量をトンを単位として表した値とする（以下この号において同じ。）。

d_{0i}は、その他実用発電用貯蔵使用済燃料であって、当該実用発電用使用済燃料貯蔵設備のうち乾式貯蔵設備に貯蔵されているもののうち、当該実用発電用原子炉以外の実用発電用原子炉から生じたものの重量をトンを単位として表した値とする（以下この号において同じ。）。

w_iは、対象使用済燃料であって、当該実用発電用原子炉から生じたものの重量をトンを単位として表した数値からW_i、w_{0i}及びd_{0i}を除いた数値とする（以下この号において同じ。）。

c_iは、当該実用発電用原子炉に初めて装荷された燃料の一炉心分の重量をトンを単位として表した値とする（以下この号において同じ。）。

εは、$W_i-1.48\times c_i$が0以下の場合にはイの算式により算定して得た値とし、それ以外の場合にはロの算式により算定して得た値とする。

イ　$\dfrac{w_{0i}}{w_{0i}+d_{0i}+w_i}\times 130{,}000$

ロ　$\dfrac{w_{0i}}{(W_i+w_{0i}+d_{0i}+w_i)-1.48\times c_i}\times 130{,}000$

θは、$W_i-1.48\times c_i$が0以下の場合にはイの算式により算定して得た値とし、それ以外の場合にはロの算式により算定して得た値とする。

イ　$\dfrac{d_{0i}}{w_{0i}+d_{0i}+w_i}\times 200{,}000$

ロ　$\dfrac{d_{0i}}{(W_i+w_{0i}+d_{0i}+w_i)-1.48\times c_i}\times 200{,}000$